

道路維持修繕工-アスファルト舗装工（透水性舗装工、排水性舗装工、保水性舗装工等）九州フィールド対象NETIS技術等選定一覧

工法比較表対象技術 新規対象技術（調査中） 削除技術

令和7年12月現在

※「活用状況（本省）」欄にNETIS掲載期間内の大きな活用件数を記す。☆＝500件以上、◎＝100件以上、○＝50件以上、□＝20件以上（注）NETISホームページへ移動しない場合は、ファイルをダウンロードしてご使用ください。

| 整理番号 | 技術名 | NETIS番号 | A V G | アブストラクト | 区分 | 分類 1 Lv.1 | 分類 1 Lv.2 | 分類 1 Lv.3 | 分類 1 Lv.4 | 技術の位置づけ | 活用 効果 評価 | 活用 状況 （本 省） ※ | 掲載期間 終了技術 （終了時期） | 生産供給体制（機械保有台数等） | 備 考 | NETIS HP リンク先（注） |
|------|---|------------|-------------|---|----|------------------------|-------------------|-------------------|--------------|------------------|----------------|---------------------------|------------------------|--|-----|---|
| 1 | フル・ファンクション・ペーパー(FFP) | KT-130010 | VG | 本技術は、混合物1層の内に排水機能に加えて防水機能が得られる多機能型排水性舗装で、従来は排水性舗装で対応していた。本技術の活用により、取込んだ雨水等の水分が下層へ浸透せず下層の保護が期待できるため、品質が向上する。 | 工法 | 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | 排水性 舗装工 | 車道舗 装工 | | 有 | ○ | ○ (R6年4月) | 9台(うち1台を当社熊本営業所にて保管)全国の 施工状況により変更有り | | - |
| 2 | リラックスファルトHT舗 装 | KT-180056 | A | 本技術は流動抵抗性と応力緩和・変形追従性を非常に高レベルで両立させた特殊アスファルト舗装で、従来はポリマー改質Ⅱ型アスファルト舗装で対応していました。本技術の活用により、耐流動性とクラック発生 の抑制ができるので耐久性の向上により品質の向上が図れます。 | 工法 | 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | 車道舗 装工 | | | | | 技術提供可能地域：全国（弊社プラントから供給 可能な範囲） | | https://www.net is.mlit.go.jp/neti s/pubsearch/de tails?regNo=KT- 180056 |
| 3 | 凍結抑制舗装・ザ ベック工法タイプG | KT-990566 | VG | 本技術は、物理・化学系凍結抑制舗装で、従来は電熱式ロードヒーテ ィングで対応していた。本技術の活用により、車両の輪荷重を利用した物理 的凍結抑制効果と凍結防止剤による化学的凍結抑制効果を同時に発揮 するため、安価で走行安全性の向上が期待できる。 | 工法 | 舗装工 | 特殊舗 装工 | 特殊舗 装工 | 車道舗 装工 | [H26活用促進 (旧)] | 有 | | ○ (H29年4月) | 納期は受注後訳1ヶ月ほど準備期間がかかる。施 工場所、プラント・販売拠点の所在地等の制約な し。 | | - |
| 4 | 砕石マステックアス ファルト舗装 | KT-990564 | VG | 本技術は、砕石マステックアスファルト舗装で、従来、床版防水工には グースアスファルト舗装、道路表層には密粒度アスファルト舗装で対応し ていた。本技術の活用により、耐久性・品質・経済性の向上が期待でき る。 | 材料 | 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | 車道舗 装工 | | 有 | □ | ○ (H29年4月) | 技術提供可能地域：全国（自社営業所・プラント所 在地近郊） | | - |
| 5 | ルビット舗装 | KT-990006 | VG | 本技術は、粉砕廃タイヤのゴム粒子を混入した特殊なアスファルト混合 物を舗設し、舗装表面に突出したゴム粒子により路面の水結層を破碎す る凍結抑制舗装で、従来は密粒度舗装で対応していた。本技術の活用 により、凍結抑制効果、リサイクル性向上が期待できる | 工法 | 舗装工 | 特殊舗 装工 | 特殊舗 装工 | 車道舗 装工 | | 有 | □ | ○ (H29年4月) | 技術提供可能地域：全国（沖縄を除く） | | - |
| 6 | 大粒径アスファルト混 合物 | HR-990089 | VG | 本技術は重交通道路舗装についてアスファルト混合物の最大粒径を大き くして耐流動性向上と厚層施工による施工能力を高めた技術で、従来は 各層を標準厚で施工するアスファルト舗装で対応していた。本技術の活 用により耐流動・耐摩耗などの向上及び早期交通開放が期待できる。 | 材料 | 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | 車道舗 装工 | [H26活用促進 (旧)] | 有 | | ○ (H29年4月) | 全国に点在する合材工場（配合試験が必要）で対 応可能である。現場条件に対応した施工機械を 運搬可能である。 | | - |
| 7 | エコファイン | CB-980017 | VG | 本技術はアスファルト混合物の製造時に発泡系の特種添加剤を使用す ることにより、製造及び舗設温度を約30℃低減した技術で、従来は通常 の製造・舗設温度でアスファルト混合物を施工していた。本技術の活用 により、CO2排出量削減・省エネルギー化・省資源化に貢献できる。 | 材料 | 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | 車道舗 装工 | | 有 | □ | ○ (H29年4月) | 各プラントにて対応可能。（混合段階にて特種添 加剤を投入し、エコファインとして出荷） | | - |
| 8 | セーフペーパー | CB-980020 | VG | 本技術は、乳剤散布装置つきアスファルトフィニッシャーでタックコート用乳 剤の散布と排水性混合物の舗設(標準厚25mm)とを同時に行うもので、 従来は乳剤の散布と排水性舗装の舗設(標準厚50mm)を別々に行ってい た。本技術の活用により経済性の向上と工程短縮等が期待できる。 | 工法 | 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | 車道舗 装工 | [H24活用促進 (旧)] | 有 | | ○ (H29年4月) | 乳剤散布装置付きアスファルトフィニッシャーは全 国で3台となったが、使用する場合は運搬費が発 生する。（埼玉県さいたま市⇄現場） | | - |
| 9 | 遮水型排水性舗装 (POSMAC) | KT-040084 | VG | 本技術は、混合物層の下部に遮水機能を有する排水性舗装を一層で構 築する技術で、従来は不透水性の基層を含めた2層構築する排水性舗装 で対応していた。本技術の活用により、省資源・省エネルギー、施工時間 の短縮、大幅なコスト縮減が期待できる。【旧技術名称:POSMAC】 | 工法 | 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | 排水性 舗装工 | 車道舗 装工 | [設計比較] | 有 | □ | ○ (H29年4月) | 技術提供可能地域：全国 | | - |
| 10 | QRP工法(QUICK REPAIR PAVEMENT 急速舗装修繕工法) | CG-990019 | VG | QRP工法は、道路舗装における工事による交通渋滞の緩和および耐久 性の高い舗装の築造を目的とした、QRP工法用大粒径混合物による急 速施工工法である。 | 工法 | 道路維 持修繕 工 | 道路打 換え工 | | | [設計比較][活用 促進] | 有 | ◎ | ○ (H29年4月) | 全国 | | - |
| 11 | マップ工法 | QS-980139 | VG | 本技術は、マルチアスファルトペーパー(特殊アスファルトフィニッシャー)を用 いて、2種類のアスファルト混合物を同時に敷きならす工法で、従来は排 水性舗装工で対応していた。本技術の活用により騒音低減効果の向上 などが期待できる。 | 工法 | 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | 車道舗 装工 | | 有 | ○ | ○ (H27年11 月) | 技術提供可能地域：全国 | | - |
| 12 | エマルテック工法 | CB-040033 | VG | エマルテック工法は従来のチップシール(散布式表面処理)工法施工方法を を改善し、専用フィニッシャーで施工するチップシール工法です。適用に より、1.エマルテック表面処理工法、2.エマルテックSAMI工法、3.エマルテッ ク遮水工法の3種類があります。 | 工法 | 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | 車道舗 装工 | | 有 | □ | ○ (H29年4月) | 特に制限なし | | - |
| 13 | タックファインSQ工法 | KT-180007 | VE | 本技術はアスファルト乳剤と分解剤を特殊ディストリビュータで同時散布 し、アスファルト乳剤の分解時間を従来技術の最大1/10に短縮する技術 で、従来はPKM-Tで対応していた。本技術の活用により、タックコートの 養生時間が短縮されるため、工程の短縮が図れます。 | 材料 | 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | 車道舗 装工 | | 有 | | | 福岡工場、熊本工場、大分工場、鹿児島工場よ り。散布可能車両計11台配備 | | https://www.net is.mlit.go.jp/neti s/pubsearch/de tails?regNo=KT- 180007 |
| 14 | よごさんゾル | CG-150008 | VE | 本技術は、タックコート用乳剤に使用するアスファルトの針入度を下限に 近い値とした材料で、タイヤへの付着を抑制できることから乳剤が周囲の 路面や走行車両を汚すことがなく、また乳剤の分解が速いことから施工 時間が短縮する。 | 材料 | 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | 排水性 舗装工 | 車道舗 装工 | | 有 | | | 製造：広島乳剤工場 技術提供可能地域：中国・ 四国地方、九州地方は少量散布ではコスト高と なるため施工数量による。） | | https://www.net is.mlit.go.jp/neti s/pubsearch/de tails?regNo=CG -150008 |
| 15 | 分解促進型タックコ ート工法(スーパータッ クゾール工法) | TH-140008 | VG | 本技術は、専用散布機により、新しく開発したアスファルト乳剤と促進剤 を同時に散布することで、分解を早めたタックコート工法である。本技 術の活用により、数十分を要していたタックコート乳剤の分解時間が5分 以下にまで短くなるため、施工時間の短縮が図られる。 | 工法 | 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | 車道舗 装工 | | 有 | ☆ | ○ (R7年4月) | 全国対応可（沖縄除く） | | - |
| 16 | HSアスコン舗装 | KTK-190001 | A | 本技術は、剛性のある特殊な熱可塑性樹脂を添加したポリマー改質アス ファルトを使用するアスファルト舗装であり、従来は、半たわみ性舗装で 対応していた。本技術の活用により、アスファルト舗装と同様に施工可能 なため、作業工程短縮による経済性の向上が図れます。 | 材料 | 港湾・ 港湾海 岸・空 港 | 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | 表層 | | | | | ・技術提供可能地域については制限なし（アスファ ルト合材、アスファルト混合物の届くエリアまで） | | https://www.net is.mlit.go.jp/neti s/pubsearch/de tails?regNo=KTK -190001 |
| 17 | ひび割れ、わだち掘 れに強い改質アス ファルト【シナヤカファ ルト】 | QS-200025 | VE | 本技術はアスファルト舗装工に寄与する技術である。ひび割れ及びわだ ち掘れに対する抵抗性に優れ、特にひび割れが伝播しにくい改質アス ファルトである。切削オーバレイ等に活用することで、従来よりも舗設後の ひび割れ発生を大幅に遅延させ、舗装の長寿命化が図れる。 | 材料 | 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | 車道舗 装工 | | 有 | | | 拠点生産工場：北海道恵庭市、宮城県仙台市、栃 木県下野市、千葉県千葉市、愛知県稲沢市、兵 庫県姫路市、広島県東広島市、愛媛県伊予郡砥 部町、大分県大分市 | | https://www.net is.mlit.go.jp/neti s/pubsearch/de tails?regNo=QS- 200025 |
| 18 | 高耐久アスファルト用 改質剤 ニュートラッ ク | KT-210017 | A | 本技術は、アスファルトに添加することで高耐久性が得られる改質剤技 術で、従来はポリマーを注入する半たわみ性舗装で対応していた。本 技術の活用により、セメントミルク不使用の為、施工作業短縮となる 他、施工後の早期交通開放も可能となる。 | 材料 | 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | 車道舗 装工 | | | | | 技術提供可能地域：全国 アスファルト改質剤「ニュートラック」生産工場：花 王鹿島工場（茨城県神栖市） | | https://www.net is.mlit.go.jp/neti s/pubsearch/de tails?regNo=KT- 210017 |
| 19 | 分解促進型タックコ ート工法（QBタック） | KK-210073 | A | 本技術は路面温度5℃程度の低温期でも分解促進剤を用いることによ り、タックコートの分解養生時間を短縮可能な工法技術であり、従来は タックコート（アスファルト乳剤）を使用していた。本技術の活用により経済 性、施工性の向上及び工程短縮が期待できる。 | 工法 | 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | 車道舗 装工 | | | | | 技術提供可能地域：北海道は除く日本国内（専用 ディストリビュータ：6台（沖縄県2台、熊本県1台、 和歌山県1台、東京都2台）） | | https://www.net is.mlit.go.jp/neti s/pubsearch/de tails?regNo=KK- 210073 |
| 20 | ストロングファルト | KT-220083 | A | 本技術は、大型車両の駐車場等に使用する高強度アスファルト混合物で 、従来はポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物で対応していた。本技術 の活用により、専用添加剤を添加してアスファルト混合物を高強度化し て、舗装のわだち掘れ等の破壊を抑制し品質向上が図れます。 | 材料 | 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | 車道舗 装工 | | | | | ・技術提供可能地域：開発会社都合所の所在地 から提供可能な地域（※地域や交通の便により異 なるため確認が必要） | | https://www.net is.mlit.go.jp/neti s/pubsearch/de tails?regNo=KT- 220083 |
| 21 | スマートコート | KT-220239 | A | 本技術は、特殊アスファルト混合物を用いた薄層オーバーレイ工法であ り、従来は切削オーバーレイ工法により対応していた。本技術の活用 により、切削量の低減が可能となるため、経済性の向上、工期の短縮およ び周辺環境への負荷の低減が期待される。 | 工法 | 道路維 持修繕 工 | 路面補 修工 | わだち 掘れ補 修工 | | | | | | 九州内：福岡県、大分県、長崎県、熊本県、宮崎 県、九州外：山形県、新潟県、長野県、山梨県、石 川県、奈良県、鳥取県、高知県を除く都道府県 | | https://www.net is.mlit.go.jp/neti s/pubsearch/de tails?regNo=KT- 220239 |
| 22 | エラスペーパー | KT-220246 | A | 本技術は、高耐久型弾力性アスファルトを用いた表層用混合物で、従来 はストレータアスファルト(60～80)を使用していた。本技術の活用により疲 勞抵抗性とリフレクションクラック(基層ひび割れの表層への上昇伝播)抑 制性能が高まり、ライフサイクルコストの低減が図れる。 | 材料 | 道路維 持修繕 工 | 路面補 修工 | その他 | | | | | | 全国に点在する合材工場で生産可能である。た だし、配合試験が必要である。 現場条件に対応した施工機械を運搬可能であ る。 | | https://www.net is.mlit.go.jp/neti s/pubsearch/de tails?regNo=KT- 220246 |
| 23 | 開粒度薄層オーバー レイ工法「POSMAC- ST」 | KT-230020 | A | 本技術は、開粒度薄層オーバーレイ工法で、従来は再生密粒度アスファ ルト混合物による薄層オーバーレイ工法であった。本技術の活用により、 既設舗装保護と路面排水機能を両立でき、ハイドロブレーニング現象や 水はね等の発生を抑制し、走行安全性の向上が図れる。 | 工法 | 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | アス ファルト 舗装工 | 車道舗 装工 | | | | | 乳剤散布装置付きアスファルトフィニッシャー Vogele SUPER 1800 SprayJet：九州内0台、九州 外2台（千葉県山武郡芝山町朝倉335 東亜道路 工業株 機械センター） | | https://www.net is.mlit.go.jp/neti s/pubsearch/de tails?regNo=KT- 230020 |

道路維持修繕工-アスファルト舗装工（透水性舗装工、排水性舗装工、保水性舗装工等）九州フィールド対象NETIS技術等選定一覧

工法比較表対象技術

新規対象技術（調査中）

削除技術

令和7年12月現在

※「活用状況（本省）」欄にNETIS掲載期間内の大きな活用件数を記す。☆＝500件以上、◎＝100件以上、○＝50件以上、□＝20件以上（注）NETISホームページへ移動しない場合は、ファイルをダウンロードしてご使用ください。

| 整理 番号 | 技術名 | NETIS番号 | A V G | アブストラクト | 区分 | 分 類 1 Lv.1 | 分 類 1 Lv.2 | 分 類 1 Lv.3 | 分 類 1 Lv.4 | 技術の位置づけ | 活用 効果 評価 | 活用 状況 （本 省） ※ | 掲載期間 終了技術 （終了時期） | 生産供給体制（機械保有台数等） | 備 考 | NETIS HP リンク先（注） |
|----------|---|-----------|-------------|--|----|---------------|---------------|---------------|---------------|---------|----------------|---------------------------|------------------------|---|-----|---|
| 24 | 改質グースアスファルト混合物「スマートグース」 | KT-230070 | A | 本技術はポリマー改質アスファルトを使用したグースアスファルト舗装で、従来はバインダ針入度が20/40級のアスファルトにトリニダッドレイクスファルトを加えたもので対応していた。本技術の活用により、耐流動性と曲げ疲労抵抗性が向上するため品質の向上が図れる。 | 工法 | 舗装工 | アスファルト舗装工 | グースアスファルト舗装工 | | | | | | 全国に点在する合材工場で生産可能であるが、沖縄では準備中である。ただし、配合試験が必要である。現場条件に対応した施工機械を運搬可能であるが、埼玉県からの運搬費用が必要である。 | | https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-230070 |
| 25 | 遠隔地に運搬可能なポリマー改質アスファルト「アシストファルト」 | KT-230212 | A | 本技術は、長距離運搬により合材温度が出荷時から50℃程度低下しても舗設可能なポリマー改質アスファルトで、従来はポリマー改質アスファルトⅡ型で対応していた。本技術の活用により、遠隔地でも施工可能となり、品質と施工性の向上が図れる。 | 材料 | 舗装工 | アスファルト舗装工 | アスファルト舗装工 | 車道舗装工 | | | | | ／ | | https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-230212 |
| 26 | 「プライムファイン」高浸透性改質アスファルト乳剤（プライムコート用） | CB-240007 | A | 本技術は、改質アスファルトを使用したプライムコート用アスファルト乳剤であり、従来技術は、高浸透性アスファルト乳剤PK-Pで対応していた。本技術の活用により、路盤の耐久性が向上し、品質の向上が期待できる。 | 材料 | 道路維持修繕工 | 道路打換え工 | | | | | | | ／ | | https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CB-240007 |
| 27 | ECOフォームド | HK-240005 | A | 本技術は少量の水と発泡補助剤を噴霧してアスファルトを泡状化させた中温化アスファルト混合物で、従来はストレータスファルトを用いた新規アスファルト混合物で対応していた。本技術の活用により品質、施工性及び周辺環境への影響の向上が期待できる。 | 材料 | 舗装工 | アスファルト舗装工 | アスファルト舗装工 | 車道舗装工 | | | | | ／ | | https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=HK-240005 |
| 28 | ひび割れ抵抗性に優れた高たわみ性改質アスファルト『FRバイonder』 | CB-240028 | A | 本技術は、新設及び維持修繕工事に用いるアスファルト混合物用ポリマー改質アスファルトであり、従来は、ポリマー改質アスファルトⅡ型を使用した混合物で対応していた。本技術の活用により、ひび割れ及びびりフレクションクラックの抑制効果が期待できる。 | 材料 | 舗装工 | アスファルト舗装工 | アスファルト舗装工 | 車道舗装工 | | | | | ／ | | https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CB-240028 |
| 29 | エコ型常温路面舗装材 | CG-240018 | A | 本技術は、路面舗装工事に用いる舗装材に廃材を再利用したブチルゴム合材を用いた技術である。従来は、加熱アスファルト系混合物を用いていた。本技術の活用により、常温の転圧により冷却時間なく道路開放が可能になり、工程短縮が図れる。 | 材料 | 道路維持修繕工 | 道路打換え工 | | | | | | | ／ | | https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CG-240018 |
| 30 | ひび割れ抵抗性および塑性変形抵抗性に優れた特殊弾性ポリマー改質アスファルト「パワーフィックス」 | CB-250008 | A | 本技術は、アスファルト舗装工に用いる特殊弾性ポリマー改質アスファルトであり、従来技術はポリマー改質アスファルトⅡ型で対応していた。本技術の活用により、塑性変形抵抗性及びひび割れ抵抗性が優れたアスファルト混合物となり、舗装の耐久性や品質向上が期待できる。 | 材料 | 舗装工 | アスファルト舗装工 | アスファルト舗装工 | 車道舗装工 | | | | | ／ | | https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CB-250008 |
| 31 | 重荷重用特殊改質アスファルト「コンテナファルトS」 | CB-250010 | A | 本技術は、新設及び維持修繕工事に用いるアスファルト混合物用ポリマー改質アスファルトであり、従来は、ポリマー改質アスファルトⅡ型を使用した混合物で対応していた。本技術の活用により、重荷重の車両が低速走行する過酷な箇所でもわだち掘れの発生抑制が期待できる。 | 材料 | 舗装工 | アスファルト舗装工 | アスファルト舗装工 | 車道舗装工 | | | | | ／ | | https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CB-250010 |
| 32 | クラック抑制舗装「C・S・P」 | CB-250013 | A | 本技術は針入度と軟化点を改善することによりひび割れ発生の抵抗力を高めたアスファルト舗装で、従来は改質Ⅱ型アスファルトを使用した舗装で耐久性の向上を図っていた。本技術の活用によりアスファルト舗装の長寿命化が期待できる。 | 工法 | 舗装工 | アスファルト舗装工 | アスファルト舗装工 | 車道舗装工 | | | | | ／ | | https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CB-250013 |
| 33 | 高耐久型薄層オーバーレイ工法（クイックコート） | CG-250009 | A | 本技術は、せん断性能の高いタックコート及び高耐久性を有するアスファルト混合物を採用した薄層オーバーレイ工法であり、従来は切削オーバーレイ工法で対応していた。本技術の活用により、アスファルト混合物の耐久性が向上するため、舗装の長寿命化が期待できる。 | 工法 | 道路維持修繕工 | 路面補修工 | わだち掘れ補修工 | | | | | | ／ | | https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CG-250009 |